

2023年度有峰蛾類分布調査-1

有峰森林文化村

【実施日時】5月16日(火)19:00~5月17日(水)5:30

【天候】晴れ→曇り【気温】15.7℃~5.6℃

【月齢】中潮26.3→中潮27.3

【実施方法】灯火採集法(ライトトラップ)

有峰は、ブナやミズナラが分布している標高1000m~1300mの高原盆地です。有峰で記録された蛾類の種類は24科931種です。5月16日~17日第1回目の蛾類分布調査を実施したので報告します。飛来した蛾類の一覧は表1のとおりです。なお、飛来した蛾類の同定は、日本産蛾類標準図鑑他を参考に実施しました。春の3大蛾エゾヨツメ、オオシモフリスズメとイボタガのうち、有峰にはエゾヨツメとイボタガの2種が生育しています。今回のライトトラップで、待望のイボタガ飛来しました。イボタガの寄主(食餌)植物はイボタノキやトネリコなどで、有峰にも分布しています。有峰のヤママユガ科は、ヤママユ、ヒメヤママユ、クスサン、クロウスタビガ、ウスタビガ、オオミズアオ、オナガミズアオとエゾヨツメの8種が分布していますが、飛来が期待されたエゾヨツメの飛来はありませんでした。

有峰のシャクガ科は既に225種が確認されています。今回の調査では、ハスオビエダシャク他が飛来しました。

スズメガ科はモモスズメが飛来しました。

ヤガ科は、有峰において既に340種同定されており最大の科です。今回の調査では晩秋から早春に出現するヨトウガ亜科のアカバキリガやスギタニキリガが飛来しました。近年、キリガ亜科、ヒゲヨトウ亜科、ヨトウガ亜科やモクメキリガ亜科などを総称して“キリガ(冬夜蛾)”と呼んでいます。キリガは、灯火以外、糖蜜にも飛来します。今年は、糖蜜採集にチャレンジしたいと考えています。

有峰のシャチホコガ科は既に65種が同定されています。シャチホコガ科は、有峰の代表種ブナアオシャチホコ他、タテスジシャチホコやモンキシロシャチホコなどが飛来しました。

今後も有峰に分布する蛾種とその寄主植物(食樹)との関係も含め、蛾類の分布調査を継続していきます。

【参考文献】

富山県昆虫同好会編：有峰の昆虫相/有峰の自然別冊(昭和56年7月)

岸田泰則著：日本蛾類標準図鑑 I II/学研

岸田泰則他著：日本のヤママユガ/(有)むし社

小林秀紀編：日本の夜夜蛾(キリガ)/月刊むし・昆虫図説シリーズ8

表1 飛来した蛾類一覧

科名	種名	飛来頭数	飛来時間帯
イボタガ	イボタガ	♀1	2:00
シャクガ	ハスオビエダシャク	♂2 ♀1	20:00～21:40
	種未同定1種	♂1	21:00
スズメガ	モモスズメ	♂1 ♀1	21:00
カレハ	キンモンカレハ	♂1 ♀1	20:20～23:40
ヤガ	アカハキリガ	♂1 ♀1	19:50～21:20
	スキタニキリガ	♂1 ♀1	20:00～21:20
シャチホコガ	タテスジシャチホコ	♂1 ♀1	19:50～22:00
	モンキシロシャチホコ	♂1 ♀1	20:30～23:00
	ブナアオシャチホコ	♂3 ♀2	19:40～22:00
	種未同定1種	♂1	20:40



点灯直後のライトトラップの様子



イボタガ♂



ハスオビエダシャク♂



モモスズメ♂



ギンモンカレハ♂



アカバキリガ♂



スギタニキリガ♂



ブナアオシャチホコ♂



モンキシロシャチホコ♂



シャチホコガの一種(未同定)♂